

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 だんのさと	代表者	吉田 法子	法人・ 事業所 の特徴	《暖もりのある笑顔と思いやりの心があふれる和やかなわが家》を法人理念とし、鳥取市吉岡地区にケアハウス、居宅介護支援事業所、デイサービス、ヘルパーステーションがあります。さとに暖の里は医療施設、農作地に恵まれた地域の中で保育園、小学校、公民館等との交流や連携を図りながら地域に馴染みのある事業所を目指しています。ご利用者様の自立支援に向けて日々、機能訓練を行い在宅で生活が継続して行えるよう支援を行っています。訪問、通い、泊まりのサービスを組み合わせニーズに沿ってサービスを提供しています。
事業所名	さとに暖の里	管理者	星見 智之		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	民生委員	合計
	2人	1人	2人	人	人	1人	人	人	1人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> スタッフ会議を活用し項目の周知、共通認識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> スタッフ会議で項目毎に説明を行った。項目によりスタッフ個人としての視点か事業所としての視点かで項目に対する認識のズレがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> 常勤スタッフで取り組んでいる。スタッフ会議を活用出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> 評価項目の認識を共通理解できるよう自己評価前にミーティングを行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の中の事を知っていただくためにも地域の方に向けて広報誌を回覧していただき、入りやすい、相談しやすい事業所作りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議委員の東里仁区長さんと世紀団地区長さんに依頼し広報誌を地域に回覧していただいた。 今年度より、行事や食事等をいつでも見ていただけるようツイッターとインスタグラムを開始した。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所のしつらえ・環境に関しては事業所内の出入りを行っておられる方にしか分かりにくい項目である。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方が事業所の敷地内に入りやすいよう共有スペースを作り使用していただく。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 広報誌の回覧を地区にお願いするとともに今まで配布していなかった機関（保育園、小学校、公民館等）へ配布を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域での行事の案内をいただき、小地域座談会や防災講習に参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> 公民館祭りで参加しやすいように展示の作品を1階にしていたが今年度は2日間とも参加させていただけた。 運営推進会議がきっかけとなり事業所の事が分かり地域の方との情報交換が行えるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 広報誌の回覧を継続し、地域で行われる行事等に参加し地域の中で事業所の事を知っていただく。

<p>D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事の参加を行いながら地域に出向いての活動を継続し行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度よりドライブや外食など外に出る機会を増やしている。 ・公民館まつり、地域の消防訓練等に参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・難しい設問が多いと思う。 ・守秘義務の関係上、事業所への情報提供が出来る事と出来ない事がある。 ・個人情報の関係で全ての方では無いが情報提供をする場合嫌がられる方もおられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事、イベント、会合へ継続し参加する。
<p>E. 運営推進会議を 活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議を活用し小規模多機能さとに暖の里の支援や方針を知っていただく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討を行い運営推進会議の中で小規模多機能に依頼のあったケースを挙げ事業所が行った支援を検討した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設によって取り組み方はそれぞれだと思うが小規模多機能がどういった施設か分かった。 ・となり組福祉委員と見学に行かせていただいたが委員の皆さんがとても興味深く聞いておられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議を活用し事例検討を行う。
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災計画の見直しを図る（備蓄、近隣施設等の連携）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災訓練に毎年参加している。 ・事業所の防災計画は年度当初、運営推進会議で見て頂いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域には自力で避難できる方と出来ない方のリストや台帳があるが、具体的に誰が避難を行うのかという課題がある。 ・自動車で移動が困難になる場合もあるため地域でリアカーの購入を考えている。 ・地域の方が外部（事業所等）への救助が実際に行えるかどうかは地域の体制を含め課題が残る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災計画とハザードマップを使用し避難する場合の手順の確認を行う。

